

十夕
日刊
東京時報
主編

立影等處想

田木選舉

貴院選舉

土 地 膽 本
請 求 す る 人 が 増 え た
苦 し く て 賣 り 挿 ふ た め

地膽本在
求する人が増えた
苦しくて賣り拂ふため
平税務署の充

遣方申請中であるが、なほ三月
中旬船舶職員の臨時試験を同場
において執行すべく仙臺遞信局
海事局にも申請中であるから受
四時頃に至ります／＼猛烈
去る十六日未明から石城
稀有の大暴風に襲はれ同日
龍卷

平窪村石森山登攀同日午後二時
半一同元氣旺盛にて歸校した。

しないことを言明してゐるの
前記兩氏の立候補は單に噂の
で實現性がなく從つて石城部
ら立候補を宣する有資格者は
いものと見られてゐるために
政黨支部長大島要三前代議士
此の程來郡した事も此の選舉
運動の爲めであると噂されるに
つた程であるが、石城部にお
る有權者を政黨別にすれば、
竣工、郵便局、役場共二十
政黨系の者は一名も無く、大
開通の筈である。

と注目
る教育
止後の處
金同様二ヶ年賦拂に延期して
ひ度いと縣を通じ認可申請中
された。
磐城中學校三年生徒二百三十
は同校小松、東海林兩特務曹員
引卒の下に昨十七日烈風の中
化に關
貴の狀
耐寒行軍

水産試験場で
船員の講習會

三月には臨時試験

之がため一般農家は頗る窮状陥り加ふるに昨今の米價安の

舊城下の小火
平局合宿所から發生

く事になつたか
協議事項及び
聽取事項は左の如くで就中中等
學校入學試験廢止後の考查成績
及び教育の地方化に對する施設
舊城下の小火
平局合宿所から變化
十八日午前十時半頃平町舊城跡
の不注意からである。同今
平部便局員合宿所親和寮の屋根は元中野浩忠氏の邸宅で現
がら發火したのを附近の者が發
局書記補影山正三氏外十數
見消し止めたが、原因は炊事女泊つてゐる。

正 倉
る
月多額
人
宿所
見在少
名が
して表彰された。
▲兩巡査表彰 平警察署
巡査林源藏、樋口朝之助兩氏は
三ヶ年以上勤続の優良警察官と
しに處、田の日立てを業として
廻り歩いてゐたものと判つた。
村字見付塙柴山から十六日午後
二時頃發火し山林十町歩を焼
同五時鎮火した。原因は炭焼上
屋から發火したものらしいと、

